

平成29年度こうちふるさと寄附金活用事業(実績)

◇ 平成28年度に頂きました845件、41,585,273円のご寄附は、下記の平成29年度の事業(4分野10事業)に活用させていただきました。 ※基金の運用益等も活用しているため、平成28年度の寄附額とは一致しません。

<分野1 こうちの「山」「川」「海」の環境を守り育てる>

○四万十川流域住民意識調査委託事業(1,534千円)

四万十川流域にお住まいの方を対象に、四万十川の環境を守る行動などの項目で住民意識調査を行いました。調査を通して、環境学習会などにより清流保全の普及啓発を継続していく必要があることが確認できました。今後も引き続き、県・流域市町・地域住民が一体となって、四万十川流域の保全と振興を推進していきます。



○外来種リスト作成事業(2,312千円)

「市町村別外来植物分布表」の作成によって、外来植物の市町村別の分布が明らかになりました。また、地域住民の方と連携して特定外来植物の駆除を行いました。このように行政や専門機関が状況を把握し、地域と連携して早期に対処することにより外来種の拡散を防止・阻止するモデルケースを作ることができました。

○環境活動支援センター事業(3,760千円)

小学生を対象とした環境絵日記コンテストの実施や地球温暖化防止に向けた普及啓発活動など、県民の環境活動や環境学習に対する支援を行いました。

<分野2 ふるさとの文化と子どもたちを守り育てる>

○高知県土佐藩主山内家墓所管理費等補助金(2,436千円)

国の史跡に指定されている土佐藩主山内家墓所について、整備の支障となる枯れ木の伐採・除去を行いました。また、墓所の保存活用計画書を作成し、保全活動と管理体制の基礎を作り上げることができました。



○ふるさと教育推進事業(1,777千円)

専門性や広域性を活かして地域活動をしている県内の2つの団体に助成を行いました。史跡を探索する歴史散歩や高校生へ出前講座を開催するなど、お遍路さんの接待を通して地域の子どものおもてなしの心を養うことができました。

小学生に坂本龍馬に関する学習教材「坂本龍馬を知っちゃう？」の配布を行い、ふるさとへの理解を深めることにもつながっています。

○全日制高等学校運営費(200千円)

中村高等学校で新たに楽器を購入しました。学校内の行事にとどまらず、各種コンクールや地域の演奏会などでも活用されています。

<分野3 龍馬がふるさと「高知」を盛り上げる>

○博覧会推進事業費(1,050千円)

平成29年3月から始まった「志国高知 幕末維新博」の開催を通じて、歴史資源の磨き上げやプロモーションの実施など、観光客の誘致に取り組みました。県内各地への観光客の周遊を促進し、賑わいの創出などにつながりました。



<分野4 元気あふれるこうちをつくる>

○高知県地域の頑張る人づくり事業費補助金(4,649千円)

各地域の課題を解決できる人づくりのため、1市町村と7団体が行った人材育成事業の支援を行いました。実際に地域で開業する方が現れるなど、町の活性化に向けた取り組みも始まっています。



○地域おこし人材連携推進事業委託料(3,949千円)

地域内外の方々が話し合いを行うフィールドミーティングや、各地域の取り組みを発表する地域おこしサミットを開催しました。その結果、特産品を紹介するリーフレットや地域の自然・文化を観るガイドツアーが形となりました。

○健康づくり推進キャンペーン(9,949千円)

県民の皆様の健康意識の醸成と健康的な活動の定着化を目的に、「高知家健康パスポート」の取得を促進するためのランクアップ制度の創設や取得イベントを実施しました。

多くの県民の方に新たにパスポートを取得していただくとともに、健康パスポートを活用した健康づくり事業を実施する市町村も増えてきています。

